

平成10年1月～平成30年12月の間に当センター病院のリハビリテーション科を
初診で受診された方へ
～臨床データ等の研究利用に対する拒否機会について(オプトアウト)～

論文等の題名：下腿切断者の歩行自立度に関係する要因－片側切断と両側切断の比較－

対象期間：平成10年1月1日～平成30年12月31日

研究費：センター運営費

1 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究は下腿切断者の方の義足歩行能力に関係する要因を検討することを目的としています。平成10年1月～平成30年12月に当センター病院に初回入院されリハビリテーションを行った下腿切断者の方を対象に、入院中の診療録から歩行状況、受傷年齢、断端長、切断原因について調査し、歩行能力との関係を分析します。

調査結果は第35回日本義肢装具学会学術大会（令和元年7月13日～14日）を含む義肢装具関連学会での発表を予定しています。これは統計的な結果を発表するものであり、発表によって個人が特定されることはありません。

2 利用する試料・情報の項目

試料：なし

情報：対象となる方の入院中の診療録、退院時の歩行状況、切断年齢、切断原因、断端長

3 試料・情報を利用する者の範囲（共同研究施設等）

- ・国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部の理学療法士
- ・国立障害者リハビリテーションセンター義肢装具技術研究部の義肢装具士

4 試料・情報の管理について責任を有する者（研究責任者）

国立障害者リハビリテーションセンター病院・リハビリテーション部・理学療法室
理学療法士 清水 麻由子

5 試料・情報の利用の拒否について

本件に関し、受診者（16歳未満の場合は保護者、16～19歳の場合は本人又は保護者）は「2 利用する試料・情報の項目」に記載した試料・情報の論文等への利用を拒否することができます。それにより受診者が診療等に不利益を受けることはありません。

試料・情報は匿名化され、個人が特定されることはありませんが、試料・情報の利用を拒否される場合は、令和元年6月7日（金）～令和元年7月8日（月）までに下記問い合わせ先にご連絡ください。

6 試料・情報の利用の拒否についての連絡及び問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター病院
リハビリテーション部理学療法室 清水 麻由子
TEL：04-2995-3100（内線 3200）
Eメール：shimizu-mayuko.y02@mhlw.go.jp

7 個人情報の取り扱いに関する疑義・苦情等の申し出先

国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部企画課長 西村 陽子
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
TEL：04-2995-3100（内線 2140）、FAX：04-2995-3661
Eメール：kikakurinri@mhlw.go.jp